

2025年12月4日

大会運営委員会

大会準備にかかる報告(理事会報告事項)

大会運営委員会では、実行委員会、企画委員会と第28回研究大会の大会準備、広報について、以下のとおり対応したことをご報告します。理事各位におかれましても、大会運営へのご支援を引き続き賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

記

1. 大会案内ホームページ、大会特設サイトの開設について

- ・研究大会の広報及び公募報告募集のため以下2つのホームページを開設した。
- ・学会公式サイトの編集作業は学会事務局(日本NPOセンター)委託事務に含まれるが、大会サイトの詳細な編集は委託事務に含まれないことから、今大会より「大会特設サイト」を学会公式サイト外に新規開設した。

学会ホームページ、「研究大会」:<https://www.janpora.org/>(大会特設サイトリンク掲載)

大会特設サイト:<https://janporaconf.wixsite.com/kumamoto2026>

2. 第28回研究大会(熊本)大会メインテーマについて

- ・2018年度研究大会までは「メインテーマ」として各大会のキーテーマが示されていた。

学会ホームページ「主な活動 5研究大会」参照:<https://www.janpora.org/information/>

- ・研究大会開催にあたって、学会として主たる問題意識についてメッセージを打ちだすため、以下のテーマと主旨から大会キャッチフレーズとして大会の広報等で広く発信する。

日本NPO学会第28回研究大会(2026年6月 会場:東海大学熊本キャンパス

大会メインテーマ

変化しつづける市民社会の今と未来を熊本から見すえる
—熊本地震から10年。災害・復興の記憶と教訓を次世代へつなぐ

2025年11月25日に発生した熊本県阿蘇地方を震源とする地震により被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

■大会メインテーマの主旨

- ・震災復興、企業進出による、まち、市民、社会の変化など、熊本の多様な社会変動を内包する。
- ・熊本地震から10年を経ても「火の国会議」が続くなど、災害復興を契機として創出／強化されたパートナーシップの動きに目を向ける。
- ・熊本地震から10年を経て災害への意識や関心の低下が懸念される。
- ・災害対応以外のNPO、市民社会についても研究テーマとして重要である。
- ・甚大災害後、10年など区切りをつけて検討する傾向があるが、今回直近で大規模な地震に熊本が見舞われたことに配慮する（お見舞いの一文を併記する）

3. 大会運営への理事による支援について

- ・大会運営への支援を理事に募ったところ、2名の理事より支援の申し出があった。大会運営及び実行委員会、企画委員会等の運営にご支援をいただく。
 - ・西出優子理事
 - ・瀬上倫弘理事

以上